

平成 27 年度 第 3 回

丹波市地域公共交通活性化協議会  
(丹波市地域公共交通会議)

議 事 録

閱覽用

1 開催日時 平成 28 年 3 月 28 日 (月) 午後 2 時 開会

2 開催場所 丹波市商工会 柏原支所

3 出席者

(委 員)

北 川 博 巳	会長	里 尚	副会長
本 間 和 典	委員	畠 宏一郎	委員
足 立 安 夫	委員	矢田貝 勲	委員
中 村 辰 雄	委員	清 水 俊 博	委員
石 田 光	委員	荻 野 忠 志	委員
小 谷 友 美	委員 (代理)	長 田 貴	委員
駒 谷 誠	委員		

委員 13 名出席

(デマンド型乗合タクシー運営者)

藤 本 泰 男  
(オブザーバー)

高 岡 克 礼

4 欠席者 中 澤 秀 明 委員 北 村 正 彦 委員  
中 川 泰 一 委員

5 会議に付した議題及び案件とその内容

1) 開 会

2) 会長あいさつ

3) 議 事

**【報告事項】**

(1) デマンド交通の状況分析について

(2) 「てくてくたんば」平成28年3月号の発行について

(3) その他

4) 閉 会

(事務長)

定刻が参りましたので、只今より平成 27 年度第 3 回丹波市地域公共交通活性化協議会を始めます。兵庫県バス協会の中澤秀明様、丹波警察署の北村正彦様、丹波市社会福祉協議会の中川泰一様、3 名につきましては欠席の連絡を頂いております。それでは早速でございますが、北川会長様にご挨拶を頂きまして、後の進行をよろしくお願い致します。

(会長)

皆さんこんにちは。今年度第 3 回ですね。平成 27 年度の最後ということになるかと思います。この 1 年も本当に、デマンド(予約)型乗合タクシーで、多くの方が外出して頂くのに貢献しているのではないかと思います。これから春になりますとお出掛けシーズンが到来してきますので、バスもタクシーも含めて利用の向上が見込まれます。こういうデータをいろいろ見ながら考えて行ければと思いますのでよろしくお願いします。毎回年度の終わりの会議は報告事項が中心になるかと思いますので、皆様もお気づきの所があればいろいろご発言いただければと思いますのでよろしくお願いします。それでは、次第に沿って行きたいと思います。まず 3 番目の報告事項のデマンド交通の状況分析について、別紙 1 から別紙 3 までありますので、ご説明頂きたいと思います。

[ デマンド交通の状況分析について説明 資料：別紙 1 ～別紙 3 ]

[ 「てくてくたんば」平成 28 年 3 月号の発行について説明 ]

(会長)

有難うございました。まず報告事項について、いろいろご説明の中でお気づきのところ、何かありますでしょうか。ご質問でもご意見でもご感想でも、何でも結構です。

(委員)

このデマンド(予約)型乗合タクシーは旧町毎に動いているとお聞きしていますが、旧町毎の利用実績はありますでしょうか。それと、デマンド(予約)型乗合タクシーの利用者の平均移動距離、また、デマンド(予約)型乗合タクシーを運行している事業者の 1 運行当りの平均キロ数についてお聞かせください。それからもう 1 点、デマンド(予約)型乗合タクシーに予約したけれど乗れなかったという方がいらっしゃった場合の対応方法をお聞かせください。

(事務局)

まず乗れなかった方の対応についてですが、オペレータが 5 人いますが、乗れなかったというのはない聞いています。ただ、予約が一杯で乗れないという場合は、次の便というような形でご予約頂くことと、9 時便、10 時便というのは利用者が多いので、そちらの便よりも 1 時間早い 8 時便のご利用をアナウンスをさせて頂いて対応をしているところで。実績のキロ数ですが、本日は資料を準備しておりませんので、資料を整えてからということよろしいでしょうか。

(会長)

私も質問をお聞きしていて、旧町毎に運行されていてこれだけ利用者が増えてくると、すごく大変なところもあるのではないかという意識があつてのご質問だと思います。資料をまとめて頂くことは可能ですか。多分出来ますよね。デマンドですから。そういうメリットがありますので、しっかりまとめた方が良いと思いますので、よろしくお願いします。1運行当りのキロ数は出せますか。タクシー事業者にご協力頂かないとだめですか。

(事務局)

平均キロと1運行当りになると、事業者にご協力頂く形になります。運行事業者にご協力頂いて数値を拾って行きたいと思います。あと、旧町エリアの実績につきましては、利用者の数でよろしいですか。当初の7月の時点で26年度の実績を出しております。口頭で説明をさせていただきますと、柏原地域は延べ利用者数3,408人、氷上地域は9,137人、青垣地域は5,954人、春日地域は5,893人、山南地域は4,022人、市島地域は3,961人です。

(会長)

有難うございます。またこの辺はいろいろ分析が出来れば良いと思いますので、よろしくお願いします。その他何かありますでしょうか。

(委員)

利用者によって違うのかもしれませんが、「お迎えがまだ来ない」という人がいるのですが、大体最大何分お遅れか分かりますか。

(事務局)

正確に何分遅れということではなくて、1時間の中でお迎えに行き、目的地までお送りするという運行形態ですので、例えば8時便での予約がもし1件しかなければ、8時丁度にお迎えに行ける状態なのですぐに行けるのですが、予約が4人、5人と入られている場合ですと、順次最短距離といいますか、適切なルートでお迎えに行くことになりますので、やはり遅い方ですと、10分なり15分なり待つ頂くことも出てくる可能性はあります。お約束しているのは、8時丁度にお迎えに行くというのではなく、1時間の間にお迎えに行って目的地までお送りするということなので、その1時間の中でお送り出来なかったということは、これまではないと聞いています。

(会長)

時間内にはなんとか行けているということですね。これもまた気になる事なので、是非時間の分析もしていく必要があると思います。その他何かありますか。デマンド(予約)型乗合タクシー自体、ここ丹波の場合は80歳以上の方がかなり多くて、足腰がそろそろ衰えて来られた方の移動手段としては、ドアツードアに近いですから、非常に良い手段といったところがあるので、利用が軒並み上がってきていると思います。登録者も大体今のところ、横ばいではありますが、新規登録の方が200人、お亡くなりになられた方が200人くらいなので、しばらくこのような状況が続いていくと思います。あと季節で見ると、バス

の場合は、夏とか冬がすごく落ち込む時期があるのですが、逆にデマンド(予約)型乗合タクシーの場合ですと、9月とか11月、12月の移動がかなり多いので、データを見ると外出支援にすごく役にたっていることが見て取れます。これから1日の利用が300人を超えた時にどうなるか、それが宿題だと思います。

(委員)

デマンド(予約)型乗合タクシーの運行開始が23年であり、5年経ちまして、運行開始時には5年くらいで見直しという話を言われていたと思いますが、それについての考え方はどうですか。

(事務局)

当初、5年で見直しというような形でのお話だったかと思います。現状でいいますと、登録者の方であたり利用数などは増えてきている状況で、5年経ってすぐに来年再来年で大きく運行方法を見直すということは、今のところまだ考えておりません。

(委員)

今の状態を続けるという考え方でいいのですか。

(事務長)

はい、しばらく今の状態の運行を続けさせて頂きまして、平成30年度に新病院の開院というのが予定されておりますので、その開院に合わせて何らかの形の見直しが出来ないかなということで、現在は考えています。

(会長)

5年前の当時を思い出すと、本当にどうなるかよく分からないところがある中で始めたこの事業ですが、日毎に利用者数も増加しているので納得がいくところではないかと思います。宿題がかなりありますので、多分来年度からはその宿題の解決に向けて、本当にいろいろ考えて行かなければいけないというところもあります。見直しというか、いろいろ解決をする年が多分28年度だろうと見ています。その他何かありますか。それでは、デマンド(予約)型乗合タクシーの話ばかりでしたので、神姫グリーンバスさん、何かありますか。

(委員)

利用者数につきましては、例年、年度始めの第1回の会議で資料を提供させて頂いています。路線バスの傾向としましては、やはり利用者の減少傾向が続いているという状況でして、このまま放っておけないので、何か考えていかねばならないのですが、いいお知恵がありましたらよろしくお願ひしたいと思います。折角の機会ですので、公共交通から離れるかもしれませんが、我々公共交通事業者として、安全への取組みの話をさせて頂きたいと思います。今年の1月15日、軽井沢で大きな事故がありました。その後も新聞記事等で、事故が報道されることがよくありました。その中で、我々はやはり交通事業者とし

て、安全対策をきっちりやっているというところでは、軽井沢の事故につきましては、運行管理があまりにも杜撰というような内容でした。法令に関して、かなりの部分で違反が認められたというようなどころがありました。そうはいつでも世間から見れば、バス会社、どこがどう違うのかという話になろうかと思えます。それで、我々神姫バスグループで組んでおります安全対策、乗務員教育についてご紹介させて頂きたいと思えます。まず乗務員の教育、訓練ですが、これにつきましては、入社から2ヶ月間、研修施設で大体運転手3人に1人の指導員がついて、乗務訓練、運転訓練をやっています。また安全知識、接客面の机上研修等もその2ヶ月の間にやっています。やはり技術的に覚束ない者は2ヶ月ではなく、3ヶ月、4ヶ月と延長しています。中にはそこでリタイアする者もいますが、大体平均すれば2ヶ月位で現場に出ます。そして現場に出ましたら、約1ヶ月位は路線見習いという形を取り、大体入社して3ヶ月後位に一人立ちをして乗務している状況です。そして入社6ヶ月後、1年後、2年後、3年後の訓練として、研修施設において再度基本に立ち返るといった研修も行っています。そして3年に1回、法律で定められた適性診断も必ず受診させて、個人の運転傾向等を確認しています。健康管理につきましては、基本の健康診断を年2回実施して、再検査については必ず受診させているのと、最近話題に出ている無呼吸症候群につきましては、全員に検査を行い、2次検査が必要な者には受診させ、医師から乗務出来ないという判断をされた場合は、当然きっちり治るまで治療という対応をしています。今後につきましては、脳ドックとか循環器系といった健康診断を予定していますが、こちら非常に費用的に掛かるということで、一定の年齢に達すれば実施するといった方法を取り入れて行く予定です。ハード面ですが、車両等に関しましては、これは貸切りバスとか高速バスが中心ですが、衝突軽減装置とか、運転手が居眠りかぶらついている状態があれば知らせる、ふらつき防止装置などを装着した車両を順次投入しています。当社グループの主な安全対策についてご紹介させて頂きました。

(会長)

神姫グリーンバスさんにおいては、バリアフリーの教育訓練研修に最近よくおいで頂いていまして有難うございます。スキルが上がっているのではないかと思います。デマンド(予約)型乗合タクシーにおいても、接遇とか介助などといった話も中には出てくるのかもしれませんが、やはり教育とか研修については大事になってきていますので、その辺の事も考えていく必要があると思えます。これもまた一つ宿題ですね。特に80歳以上の方の利用が多い状況ですので、接遇をしっかりと行って行きましょうということだと思います。タクシー事業者からは何かありますか。ちょっとお聞きしたいのですが、運転免許証を返納される方の割引制度はやっていますか。「てくてくたんば」に書いていますが、運転経歴証明書10%割引が始まっているというところですね。効果が分かると警察も喜んでくれるかもしれませんが、何か資料がありましたらご提出頂ければと思います。その他よろしいですか。では話を進めて、3番のその他、何かありますでしょうか。

(事務局)

事務局からの報告です。この度、市にデマンド(予約)型乗合タクシーに関する要望書の提出がありました。今回この場で、その要望内容について回答頂くということではなく、

意見について事前にお伺いを出来たらということで、ご報告させて頂きたいと思います。現在、デマンド(予約)型乗合タクシーのご利用については、事前登録を必須ということで、どなたにつきましてもご利用される時には事前に登録をしていただき予約をして、ご利用して頂いている状況です。今回の要望内容は、障害者の方の介助者、付添いの方についてです。例えばガイドヘルパーさんとか、丹波市以外の親族や知人の方等が介助者として利用される時に、デマンド(予約)型乗合タクシーに登録されていなくても同乗が出来るようにして欲しくないかといった内容です。現在の登録者の範囲につきましては、丹波市内の方、もしくは丹波市にゆかりのある方、といったところでこれまで運用してきている状況です。丹波市にゆかりがない方につきましては登録をお断りしている状況ですが、介助者として利用する時に登録なしで利用したいというご要望内容です。

(会長)

事前にご相談頂きましたが、3月の中旬頃に、ご要望があったようですね。杓子定規的に言いますと、「てくてくたんば」の5ページにもありますように、介助者として利用する場合も、デマンド(予約)型乗合タクシーの利用登録が必要だとあるのですが。遠くから来られるのは、多分ガイドヘルパーの方くらいなのですが、その方々の利用に対する要望であると思っています。この辺のガイドヘルパー事情とか何かご存じないですか。なぜこのような要望が出てきのか。あまりご存じないですか。ご要望に応えたい部分なのですが。状況がよく分からないので、事務局には、もう少しいろいろ調べてから決めることにしましょうとは言っているのですが。ここではこういう話があったのだけれども、いろいろな状況とかを聞くこととし、福祉部局との話も必要と思いますので、今回は連絡みたいな形になりますが、また来年度の協議事項に加わりそうだといいところだけはお知りおき下さい。

(委員)

個別に丹波市外の介助者の方がつきたいと。障害者の方が今まで個人レベルでずっとついでくれている丹波市以外に住んでいるガイドヘルパー等の人と、その人の登録なしでは乗れないという話ですね。

(事務局)

そういったこともあると思います。ただ、今回この要望の背景を聞き取りをさせて頂いたところ、会議の中でそういう意見がたまに出るのだといったことでした。実際どのくらい対象の方がおられるのかは、具体的にこの人この人という様な数は把握出来ていないといったことです。ただ要望としては、広い受け皿を作っておいてほしいという意味合いの方がどちらかと言えば強いという様なところです。

(会長)

本当に丹波市以外のその方でないと駄目なのかどうかといった点のチェックとか、判断を考えた時に、丹波市内で他の制度の利用ができるのであれば、当然そういう方向で考えてもらうのが、本来妥当ではないかと思っています。

(委員)

市ではおでかけサポートという事業があって、それについては個人の付添いの方でも乗せて行かれているのだと思います。1人でもそんな形を取られているのだから、そういう制度を利用された方が良いのではないかと思いますけど。おでかけサポートは1人でも利用できて、1時間もかかる様な場所でも行けるのだから、そういうものも利用されればよいと思いますけど。

(委員)

福祉有償運送についても、協議会でご議論頂いていると聞いておりますので、これを決めるについては、地域の皆さんの合意があってのものだと思いますので、私の方からは、やって下さいということは言えませんが、慎重にご検討頂いたらと思います。それと、もう1点。デマンド(予約)型乗合タクシーの件は終わったのですが、国土交通省としましても、丹波市のこのデマンド(予約)型乗合タクシーは、先行事例であります。おそらく、いろんな地域から見学に来られたりしており、私も機会がある毎に丹波市の事例を発表したりしていますので、今後も見学とかお問合せが増えると思いますがいよいよお願いしたいと思います。

(会長)

客観的に言ってもらえると元気が出ますね。今までやってきたことが少しずつ皆に注目して頂いているみたいなので。なるべく丹波市が先を行っているところを見て頂ければと思います。

(委員)

この冊子の表紙の「てくてくたんば」の文字をちょっと小さくしてもらって、例えばデマンド(予約)型乗合タクシーでしたら0795-72-5500とか、表紙をパッと見たら分かるように、この下に書いてもらったらいいかと思います。該当ページを見たらもちろん書いてありますけど。パッと見た場合ですね。個人の希望なのですが。例えばタクシーの場合は裏表紙を見たら、青垣タクシーは何番と書いてありますね。鉄道の場合はそれぞれ駅にありますので、駅の番号は皆分かるのですけれども。「てくてくたんば」の文字をちょっと小さくしてもらって、その余裕が欲しいといった意見です。

(会長)

また、印刷業者とよく検討して頂ければと思います。後は期末を迎えるにあたって、新たに高校に入られる方がいると思うのですが、神姫グリーンバスさんは、新入生向けに、定期を買おうとかバスに乗ろうとか、何かそんなキャンペーンでもないですが、少し活動とかご意見ないですか。

(委員)

丹波市内は、主に氷上西高校へ柏原駅から通学されている方が10名前後くらいかと思

ます。多可町におきましては、西脇高校へのバス通学者が沢山ありまして、それは市の方から3年間に対しての、定期代とかバス利用の支援的なことをやっています。多可町さんは路線バスの通学運賃補助もされていて、そういう面で利用者もそこそこあるということで、そういったコマーシャルをやっています。あと、神河町におきましてはスクールバス。割と田舎になってきましたら、小学校とか中学校の統合が出てきています。統合になって遠隔地の方がバス通学をされるということで、町の政策で、町が一括して定期を購入されて通学支援をされるといった状況です。改めて考えれば、もっと我々のコマーシャルが必要だと思っております。またいろいろと検討していきたいと思っております。

(会長)

連携についてですかね。是非よろしくお願ひしたいと思っております。年度も終わりですので、言いたいこと言って終わりにしたいと思っておりますがよろしいですか。それでは今年度もどうも本当にお疲れ様でした。今回はどちらかというと報告が中心だったのですが、この1年、3回やりまして、出来た案件が結構一杯ありますね。一つはやはり柏原病院が移転するに伴う道路がストック的に大丈夫なのかといった話とか、それから引き続きデマンド(予約)型乗合タクシーを旧町外にも走らせてほしいというお話がある中で、その二つがどうも引きつけそうだなというのがあります。先程も言いましたように、移動距離が長くなるとかなり負担になってきますので、タクシー事業者もそうですし、乗っている方も負担になって来ますので、乗り継げるような形で、色々な手法も検討していかないといけないといったところが一つですね。それから、5年経過するとデマンドのシステムの問題というのがあります。要は大分古くなってきていて。デマンド車両にノートパソコンを積んでやっている訳ですが、タブレットとかの時代にまだこれかという。実は高いものを入れていきますので、その辺も替えなきゃいけないかなという話も出てくると思っております。それから福祉有償運送との兼合いとか、絡みとか。一種の丹波市の公共交通の中に入るか入らないかというのは、ちょっと言い訳をしないといけないのかもしれませんが、交通施策の中の一つとしてこういう手段も、まだまだ行っていないといけない手段もありますよね。福祉有償、交通空白地有償を丹波市はお持ちなので、そういうところとの連携の問題もまだまだありますので。それからデマンド(予約)型乗合タクシーについても、そろそろ9時便、10時便が一杯になってきていて、どうすべきかというところにきています。1日当りの平均が300人位を超えると、多分破綻ですよ。ですから、そういうところの問題も出てくるので、なかなか先を行くと難しいのが、どこかに習うことが出来ない、自分で考えないと仕方がないので、そのあたりも考えて行かないといけないところですね。まだこれから高齢の方も増えてくるので、登録者をもう少し増やしながら、車に乗る時もあるけれども、デマンド(予約)型乗合タクシーに乗る時もあるという形をどうやって作っていくかとかいろいろあります。それからバスの利用が減ってきていますので、その活性化も含めて、この辺も宿題なんです。ですから28年度は、こういう宿題の課題解決に向けて、また1歩2歩動かないといけないので、もう事務局だけではなく事業者の方も頑張ってもらえないといけないし、様々な部局の方にも頑張ってもらえないといけないし、私も一生懸命それに対して調整していかなければならないと思っております。

(委員)

どうもご苦労さまでした。今日は報告事項だけだったのですが、なかなか中身のあるお話でした。私も先週、805FMたんばで3分間話すように言われて、その中で、高齢者に関する、今の人口減少の中でのデマンド(予約)型乗合タクシーとか、それぞれの競合の話を少しだけさせて頂いたんです。聞いて頂いた方があったかもしれませんが、そんなことでお互いに関心がだんだんと高まってきていますから、ここで会長がお話されたように、28年度については、細かい分析、課題解決に向けて、さらに公共交通を盛り上げて行けるような形で頑張っていきたいと。今日は本当にご苦労様でした。有難うございました。